

様式第 5 号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 等 実 施 計 画	
1	教育実習等の内容及び成績評価等
①	教育実習等の時期 ＜教育実習＞ 3 年次 8 月～9 月
②	教育実習等の実習期間・総時間数 ＜教育実習＞ 中学校 4 週間（120 時間） 高等学校 2 週間（60 時間）
③	実習校の確保の方法 ＜教育実習＞ 本学附属高松中学校、附属坂出中学校のうち、実習生の人数調整を行った後、実習校に内諾を得る。特に、高等学校の「情報」のみを取得しようとする学生など、高等学校での教育実習を希望する者に対しては、母校実習を基本として教育実習を行う。履修する年度の直前の年度末までに、教育学部教育実習実施専門委員会にて実習校を確保する。
④	実習内容 ＜教育実習＞ 教師のあり方についての指導、教育実践の観察活動、子どもとの交流活動、机間指導など授業における支援活動といった入門的段階から、授業構想・授業実践・授業省察、さらに学級経営に関する内容も含めた本格的段階までプログラムを用意している。絶えず予期せぬことが起こるのが教育実践現場であり、そうした現実への対応も重視している。
⑤	実習生に対する指導の方法 ＜教育実習＞ 週 1 回程度、実習校での指導案づくりの進捗状況を確認して、指導助言等を行う。模擬授業等の巡回指導も行う。また、補助が特に必要な実習生については、指導教員等が頻度を上げて巡回指導を行うとともに、実習校の教諭とも連絡を密にする。
⑥	実習の成績評価（評価の基準及び方法） ＜教育実習＞ 評価項目表、評価シートは別途添付のとおり。
2	事前及び事後の指導の内容等
①	時期及び時間数 ＜教育実習＞ ・ 4 月～5 月：大学での全体事前指導 90 分間×5 回 ・ 5 月末：大学での直前教育「教育実習の意義と心構え」 90 分間 ・ 6 月～7 月：実習校での全体事前指導 2～3 回（合計：5 時間～6 時間） ・ 10 月～11 月：大学での全体事後指導 3 時間×2 回

② 内容（具体的な指導項目）

<教育実習>

事前指導では、学内担当教員による指導と教育実習を行う各附属学校園教員による指導を行う。教育実習の意義・目標・課題の確認と学習指導や生徒指導・学級経営の実際について指導を行う。また、教職に対する使命の自覚、法令遵守、社会規範やモラル、マナーの向上を図る。

事後指導では、全体指導として3年次の主免教育実習についての反省的考察を行う。

3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

・ 委員会等の名称

香川大学教育学部教育実習実施専門委員会

・ 委員会等の構成員（役職・人数など）

大学）実地教育委員会委員長及び教育実習担当教員／15名

附属学校）校長・副校長・実習主任／18名

・ 委員会等の運営方法

4月、12月に年2回開催する。

【委員会の組織図】

別途添付のとおり。

② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等（※学校体験活動を含む場合は、大学と学校との連携体制についても記載すること。）

全て附属学校で教育実習を行うため、大学外の関係機関との調整連絡等を行う委員会は設けていない。

4 教育実習の受講資格

以下の全ての要件を満たすこと。

- ・ 2年次までに60単位以上修得していること。
- ・ 教職基礎科目4単位以上、教科教育科目・教職総合科目の中から4単位以上修得していること。
- ・ 教育実践プレ演習、教職概論の単位を修得していること。
- ・ 教育実践演習（幼・小・中等）の事前指導を受講していること。

5 実習校

教育実習	体験活動	学級数の合計	中学校18学級
○	×	学校名 教員数	香川大学教育学部附属高松中学校（香川県高松市鹿角町394） 学級数：9学級 生徒数：313人 24人（内訳）教諭16人、助教諭0人、講師7人、養護教諭1人、養護助教諭0人、栄養教諭0人
○	×	学校名 教員数	香川大学教育学部附属坂出中学校（香川県坂出市青葉町1-7） 学級数：9学級 生徒数：315人 22人（内訳）教諭16人、助教諭0人、講師5人、養護教諭1人、養護助教諭0人、栄養教諭0人

令和4年3月2日

国立大学法人香川大学

学長 笥 善 行 殿

香川大学教育学部附属高松中学校

校長 佐 藤 明 宏

教育実習受入承諾書

本校は香川大学 教育学部 学校教育教員養成課程の教育実習を受入することを承諾する。

令和4年3月2日

国立大学法人香川大学

学長 笥 善 行 殿

香川大学教育学部附属坂出中学校

校長 平 篤 志

教育実習受入承諾書

本校は香川大学 教育学部 学校教育教員養成課程の教育実習を受入することを承諾する。

		得点	10～9(5,4)	8～6(3)	5～3(2)	2～0(1,0)
対人		仕事の期限	指導案づくりや板書計画などを計画的に行い、授業に望む事ができる	指導案づくりや板書計画などを行い、授業に間に合わせる事ができる	指導案づくりや板書計画などを行っているが、授業に間に合わせる事ができない	指導案づくりや板書計画などが行えず、授業に間に合わせる事ができない
		勤務時間	遅刻や早退がなく、勤務時間内に学校で行うべき事を終わらせる事ができる	遅刻や早退がなく、勤務時間内に学校で行うべき事を終わらせる事はできないが、適度な時間に終わらせる事ができる	遅刻や早退がなく、勤務時間内に学校で行うべき事を終わらせる事はできないが、勤務時間を大幅に超えて終わらせる事ができる	勤務時間を大幅に超えても学校で行うべき事を終わらせる事ができない
		他との協力熱意	他と協力して、実習の効果をあげようとする熱意や謙虚に学ぶ姿勢が見られる	他と協力して、実習の効果をあげようとする熱意が見られる	他と協力しようとする姿勢は見られるものの、実習に対する熱意が感じられない	指導案づくりなどを行わず、会話や他事ばかりを行っている
子ども理解		興味・関心、理解の状況の把握 個に応じた指導・助言	生徒の興味・関心、理解の状況を把握し、個に応じた指導・助言ができる	生徒の興味・関心、理解の状況を把握し、授業が行える	生徒の興味・関心、理解の状況を把握することはできるが、授業でいかす事ができない	生徒の興味・関心、理解の状況を把握する事ができない
		授業観察	授業の要点をよく観察し、記録でき、自分なりの解釈も記述の中に見られる	授業をよく観察し、要点を絞って記録できる	授業観察を行えるが、要点を絞った観察が行えず、授業の流れの記述にとどまっている	授業観察を行わない、または授業観察の記録がとれない
指導力	教科	わかる授業	生徒にとってわかる授業を展開することができ、生徒の反応によって臨機応変に対応できる	生徒にとってわかる授業を展開することができる	授業を行う事はできるが、生徒が理解できる授業ではない	授業を行う事ができない
		発問・板書・助言・解説	発問・板書・助言・解説などに生徒の理解を助けるための工夫が見られる	発問・板書・助言・解説など基本的な指導スキルが身についている	発問・板書・助言・解説などの計画は立てられるが、授業でいかす事ができない	発問・板書・助言・解説などの計画が立てられない
		教材・資料・機器等の活用	教材・資料・機器等を効果的な場面で有効に活用し、授業を行う事ができる	教材・資料・機器等を活用し、授業を行う事ができる	資料・機器等を用いて授業を行う事ができる	教材・資料・機器等を使う事ができない
		教材解釈	教材解釈が的確で、その要点を徹底した指導ができ、要点を指導するための複数の手立てが用意できる	教材解釈が的確で、その要点を徹底した指導ができる	教材解釈はできるが、要点を徹底した指導ができない	教材解釈を行えず、授業にいかす事ができない
探究心		指導方法や内容の工夫(指導案)	生徒の実態に応じて、指導方法や内容を工夫している	指導方法や内容を自分なりに工夫している	指導方法や内容を書いている	指導方法や内容に不備がある
		レポート	レポートの中に実習中に学んだ事や教員になったときの事などが盛り込まれ、教職に対する意欲がかけられる	レポートの中に実習中に学んだ事が盛り込まれている	レポートの内容が実習で行った事の羅列や本の引用ばかりである	レポートが不備である、または提出しない

枠内の評価については（ ）の得点でつける。 目安 : 5点＝優 4点＝良 3点＝可

		得点	10～9	8～6	5～3	2～0	6
使命感		生徒の人間形成	自ら個性を適切に表現し、自らを手本として見せる事で、生徒の人間形成に好影響を与えることができる	自らの個性を適切に表現し、生徒の人間形成に好影響を与えることができる	自らの個性を表現しない、生徒の人間形成に影響を与えない	自らの悪い面を表現し、生徒の人間形成に悪影響を与える	
指導力	学級	人間道徳・学級活動	道徳・学級活動において、生徒の実態やその場の状況に応じて工夫・努力できる	道徳・学級活動において、生徒の実態を把握しようと努力し、生徒との関係を築く事ができる	道徳・学級活動において、積極的に参加せず、生徒の実態の把握もあまりできていない	道徳・学級活動に参加せず、生徒との関係も築く事ができない	
		清掃・昼食・休み時間	清掃・昼食・休み時間などで積極的に生徒と接し、自ら進んで活動し、指導できた	清掃・昼食・休み時間などで生徒と接し、指導できた	清掃・昼食・休み時間などで生徒に接する事ができず、指導も行えない	清掃・昼食などに参加しない、または生徒とともに遊んでいる	
使命感	対人 実習	部活動			最低参加回数(週1回)の2倍を超える参加をしたものに4点、最低参加回数より多くの参加をしたものに3点、最低参加数の参加をしたものに2点、1回～最低参加数未満の参加をしたものに1点、一度も参加しなかったものに0点をつけ、参加態度が生徒の人間形成によい影響を与えられたことができたものに顧問または学級担任が1点を加える。		
		仕事の期限			朝の読書タイムなどの集合時間やアンケートなどの提出期限に1回も遅れなかったものに5点、1回遅れたものに4点、2回遅れたものに3点、3回遅れたものに2点、4回遅れたものに1点、5回以上遅れたものに0点をつける		
		勤務時間			欠席が1回もないものに5点、欠席が1回のものに4点、欠席が2回のものに3点、欠席が3回のものに2点、欠席が4回のものに1点、欠席が5回以上のものに0点をつける(遅刻・早退は0.5回とし、端数は切り上げる)(遅刻・早退・欠席の事情により考慮する)		
		他との協力熱意			持ち点3点から、教科代表、代表挨拶、道徳授業者、朝夕の立哨、講話や討論などで積極的に活動を行っている者、に+1点、活動しなかったものに-1点、寝るなどの行為を行ったものに-2点、参加しなかったものに-3点をつける		

附属坂出中学校・実習の成績評価

教育実習 評価

【学級】

()年()組 (20点満点) ※5段階の3は可、4は良、5は優

No.	氏 名	課 程	教科	生徒への 接し方 5点	学級指導 5点	スピーチ 5点	レポート 5点	総合点 20点	16点以上および 12点未満の具体的 理由
1								0	
2								0	
3								0	
4								0	
5								0	
6								0	
7								0	
8								0	
9									
10									

- ◇ 生徒への接し方・・・積極的に生徒の中へとけこみ、適切な言動で接していたか。
- ◇ 学級指導 ・・・ 1日担任として、伝達・指示・清掃指導などはきちんとできていたか。
- ◇ スピーチ ・・・ 内容、準備、話し方は適切であったか。
- ◇ レポート ・・・ 「実習における自分の学級指導の体験を振り返り、その中で発見したこととその意味について述べよ。」(枚数は自由)

※ 実習録については適宜点検し、各評価の参考資料とする。

附属坂出中学校・実習の成績評価

教育実習 評価

【教科】

○ ○ 科 (35点満点) ※5段階の3は可、4は良、5は優

No.	氏 名	課 程	指導 案 5点	学習 指導 10点	教材 研究 5点	実習 録 5点	実習 態度 5点	レポ ート 5点	総合点 35点	28点以上およ び21点未満の 具体的理由
1									0	
2									0	
3									0	
4									0	
5									0	
6									0	
7									0	
8									0	
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										

○指導案 … 構想力、計画性

○教材研究… 創造力、理解力

○実習態度… 人格、意欲

○学習指導… 指導力、包容力

○実習録 … 記録、整理力

○レポート … 論理性

◇ 指導案は、毎時間の指導過程(右半分)を作る。総合実習は左も必要。ワープロで作成するのが原則。

◇ レポート「実習における自分の教科指導の体験を振り返り、その中で発見したこととその意味について述べよ。」(枚数は自由)

教育実習評価規準表

		得点	10～9(5,4)	8～6(3)	5～3(2)	2～0(1,0)
対人		仕事の期限	指導案づくりや板書計画などを計画的に行い、授業に望む事ができる	指導案づくりや板書計画などを行い、授業に間に合わせる事ができる	指導案づくりや板書計画などを行っているが、授業に間に合わせることができない	指導案づくりや板書計画などが行えず、授業に間に合わせる事ができない
		勤務時間	遅刻や早退がなく、勤務時間内に学校で行うべき事を終わらせる事ができる	遅刻や早退がなく、勤務時間内に学校で行うべき事を終わらせる事はできないが、適度な時間に終わらせる事ができる	遅刻や早退がなく、勤務時間内に学校で行うべき事を終わらせる事はできないが、勤務時間を大幅に超えて終わらせる事ができる	勤務時間を大幅に超えても学校で行うべき事を終わらせる事ができない
		他との協力熱意	他と協力して、実習の効果をあげようとする熱意や謙虚に学ぶ姿勢が見られる	他と協力して、実習の効果をあげようとする熱意が見られる	他と協力しようとする姿勢は見られるものの、実習に対する熱意が感じられない	指導案づくりなどを行わず、会話や他事ばかりを行っている
子ども理解		興味・関心、理解の状況の把握 個に応じた指導・助言	生徒の興味・関心、理解の状況を把握し、個に応じた指導・助言ができる	生徒の興味・関心、理解の状況を把握し、授業が行える	生徒の興味・関心、理解の状況を把握することはできるが、授業でいかす事ができない	生徒の興味・関心、理解の状況を把握する事ができない
		授業観察	授業の要点をよく観察し、記録でき、自分なりの解釈も記述の中に見られる	授業をよく観察し、要点を絞って記録できる	授業観察を行えるが、要点を絞った観察が行えず、授業の流れの記述にとどまっている	授業観察を行わない、または授業観察の記録がとれない
指導力	教科	わかる授業	生徒にとってわかる授業を展開することができ、生徒の反応によって臨機応変に対応できる	生徒にとってわかる授業を展開することができる	授業を行う事はできるが、生徒が理解できる授業ではない	授業を行う事ができない
		発問・板書・助言・解説	発問・板書・助言・解説などに生徒の理解を助けるための工夫が見られる	発問・板書・助言・解説など基本的な指導スキルが身につけている	発問・板書・助言・解説などの計画は立てられるが、授業でいかす事ができない	発問・板書・助言・解説などの計画が立てられない
		教材・資料・機器等の活用	教材・資料・機器等を効果的な場面で有効に活用し、授業を行う事ができる	教材・資料・機器等を活用し、授業を行う事ができる	資料・機器等を用いて授業を行う事ができる	教材・資料・機器等を使う事ができない
		教材解釈	教材解釈が的確で、その要点を徹底した指導ができ、要点を指導するための複数の手立てが用意できる	教材解釈が的確で、その要点を徹底した指導ができる	教材解釈はできるが、要点を徹底した指導ができない	教材解釈を行えず、授業にいかす事ができない
探究心		指導方法や内容の工夫(指導案)	生徒の実態に応じて、指導方法や内容を工夫している	指導方法や内容を自分なりに工夫している	指導方法や内容を書いている	指導方法や内容に不備がある
		レポート	レポートの中に実習中に学んだ事や教員になったときの事などが盛り込まれ、教職に対する意欲がかけられる	レポートの中に実習中に学んだ事が盛り込まれている	レポートの内容が実習で行った事の羅列や本の引用ばかりである	レポートが不備である、または提出しない

枠内の評価については（ ）の得点でつける。 目安 : 5点＝優 4点＝良 3点＝可

	得点		10～9	8～6	5～3	2～0
使命感		生徒の人間形成	自ら個性を適切に表現し、自らを手本として見せる事で、生徒の人間形成に好影響を与えることができる	自らの個性を適切に表現し、生徒の人間形成に好影響を与えることができる	自らの個性を表現しない、生徒の人間形成に影響を与えない	自らの悪い面を表現し、生徒の人間形成に悪影響を与える
指導力	学級	人間道徳・学級活動	道徳・学級活動において、生徒の実態やその場の状況に応じて工夫・努力できる	道徳・学級活動において、生徒の実態を把握しようと努力し、生徒との関係を築く事ができる	道徳・学級活動において、積極的に参加せず、生徒の実態の把握もあまりできていない	道徳・学級活動に参加せず、生徒との関係も築く事ができない
		清掃・昼食・休み時間	清掃・昼食・休み時間などで積極的に生徒と接し、自ら進んで活動し、指導できた	清掃・昼食・休み時間などで生徒と接し、指導できた	清掃・昼食・休み時間などで生徒に接する事ができず、指導も行えない	清掃・昼食などに参加しない、または生徒とともに遊んでいる
使命感	対人 実習	部活動			最低参加回数(週1回)の2倍を超える参加をしたものに4点、最低参加回数より多くの参加をしたものに3点、最低参加数の参加をしたものに2点、1回～最低参加数未満の参加をしたものに1点、一度も参加しなかったものに0点をつけ、参加態度が生徒の人間形成によい影響を与えられたものに顧問または学級担任が1点を加える。	
仕事の期限				朝の読書タイムなどの集合時間やアンケートなどの提出期限に1回も遅れなかったものに5点、1回遅れたものに4点、2回遅れたものに3点、3回遅れたものに2点、4回遅れたものに1点、5回以上遅れたものに0点をつける		
勤務時間				欠席が1回もないものに5点、欠席が1回のものに4点、欠席が2回のものに3点、欠席が3回のものに2点、欠席が4回のものに1点、欠席が5回以上のものに0点をつける(遅刻・早退は0.5回とし、端数は切り上げる)(遅刻・早退・欠席の事情により考慮する)		
他との協力熱意				持ち点3点から、教科代表、代表挨拶、道徳授業者、朝夕の立哨、講話や討論などで積極的に活動を行っている者、に+1点、活動しなかったものに-1点、寝るなどの行為を行ったものに-2点、参加しなかったものに-3点をつける		

